

# 御神火に願う

「一年間守ってくれてありがとう」という感謝の思いを込め、お守りなどを御神火の炎の中に入れます

どんと祭と花火大会が同日に行われる「石越冬のまつり」が1月14日、石越総合運動公園で開催されました。「どんと祭」は宮城県を中心に呼ばれる祭りの呼称で、正月飾りやお守りなどを焚き上げた御神火にあたり一年の無病息災、家内安全、豊作などを祈願します。26回目を迎える花火大会では、願いを込めて打ち上げられた花火に、訪れた人は今年の幸福を願いお祈りしていました。(21、23ページ)

## 石越

町内の環境パトロール実施



▲不法投棄の現場を確認する公衆衛生組合役員の皆さん

## ごみ不法投棄は許さない

12月18日、石越公衆衛生組合役員による環境パトロールが実施され、町内の集積所や不法投棄現場などを巡回しました。町内には約70カ所のごみ集積所があります。実施2年目の今年は、ごみの出し方や集積所が修理されているなど改善が見られました。これまで不法投棄が常態化している場所も改善を確認。昨年のパトロール後に設置した防犯カメラの効果が見られました。参加者はパトロールの最後に、一人一人がルールとマナーを守り、きれいなまちづくりに向けての取り組みを続けることを確認しました。

## 親子で一緒に友達づくり

北本郷地区の子育てサークル「ママサークル」が12月15日、北本郷公民館でクリスマス会を開催しました。サークルは、地区にアパートなどが増える中、平成20年に行政区長、保健活動推進員が中心となり、親子の交流や子育て支援を目的に設立。毎月、いも煮会やお茶会などを開催しています。クリスマス会では保護者らがクイズやマジックなどを披露。サンタさんも登場し、子どもたちは大喜びでした。転勤で引っ越してきたという参加者は「親子ともに友達ができ、毎月楽しみにしています」と話していました。

ママサークルクリスマス会

## 南方



▲この日のためにママ、パパが準備した出し物にみんな大喜び

## 津山

仮設住宅で花いっぱい運動



▲色合いを考えながら花を植える参加者

## 植栽で地域の絆を強める

11月28日、「すばらしいつやまを創る協議会」が呼び掛け、津山町内の仮設住宅(3自治区)で「花いっぱい運動」が実施されました。「すばらしいみやぎを創る震災復興支援事業」の一環、仮設住宅地にプランターを設置することで、被災した人々の心を元気づけるとともに、住居者相互の連携を深めることを目的に震災後、毎年実施しています。花を植える作業を通して、仮設住宅の住民と地区の住民が互いに協力し合うことで、同じ地域に住む住民としての絆を強めることができました。